

# 地域で取り組む標茶町乳質HACCPへの支援

～関係機関が一丸となって衛生管理の向上へ～

広域 情報・クリーン・有機

## ◇ 活動のねらい

標茶町では、乳質事故の増加、衛生的乳質の悪化などの課題があった。従来からの「注意しましょう。」「確認しましょう。」といった啓発活動だけでなく、HACCPシステムを取り入れた乳質改善を目指した。普及センターは関係機関とともに情報収集、取組方法の提案を行いながら支援した。

## 1 活動の経過

(1) HACCP活用の事例収集

- ・山酪ハサップ認証基準（山形県） H28. 1
- ・静岡県でのISO22000取得事例 H28. 2
- ・北海道での農場HACCP認証事例 H29. 11



- ・農家対象のHACCP学習会の開催
- ・関係機関職員を対象とした学習会の開催(情報収集)

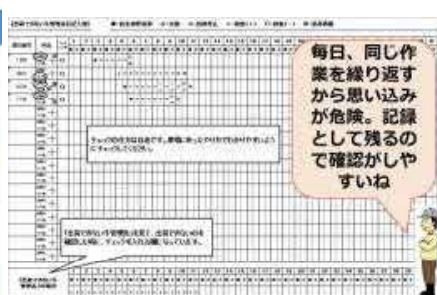
(2) 関係機関職員がHACCPを学習

(H26～H30)



- ・関係機関職員を対象とした学習会の開催(情報収集)
- ・農場HACCP指導員・審査員の講座受講による資格取得(18名)

(3) 乳質改善を目指す乳質HACCPの取組



2つのチェックシートを生乳出荷農家全戸に配布し記帳を促した。(H28. 4～)

- 「乳質ハサップシート」：毎日の搾乳ごとに乳温、洗浄、ラインの切替えをチェックする。
- 「出荷できない牛管理表」：出荷できない牛を把握・管理する。

取組向上のための全農場巡回 (H28～)

- 「乳質ハサップシート」、「出荷できない牛管理表」の点検
  - 生乳管理記録、飼養衛生管理基準の点検
- 関係機関が交代で巡回に加わり、取組を点数化  
⇒ 点数の低い項目を次年度の重点目標へ

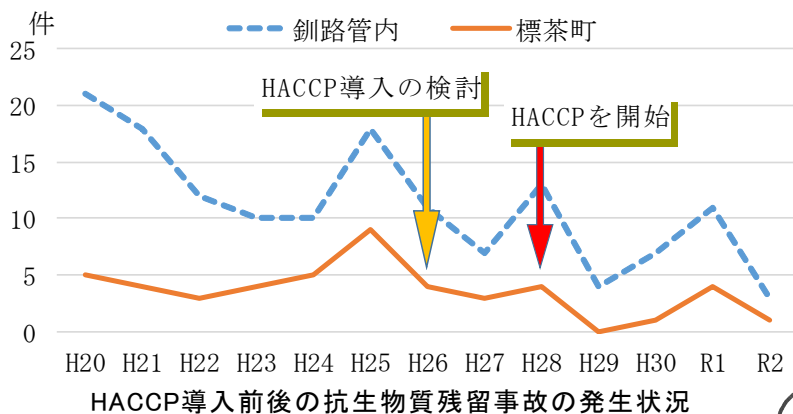
## 2 活動の成果

### (1) HACCP推進会議の設立～衛生管理システムを策定し普及

関係機関の合意、連携のため「標茶町酪農HACCP推進会議」を設立（H28. 6）

- ・「標茶町乳質HACCP」を作成、HACCP計画を農場、関係機関で共有し達成確認（H29～）
- ・活動の点検を行い、自記温度計マニュアルの追加、ロボット搾乳農場への対応検討をしながらHACCPの充実を図った。

### (2) 乳質事故の減少



- ・ハサップシート記帳による確認と意識の変化
- ・研修会・巡回調査による啓発活動
- ・地域で関係機関が常に話題にするなどにより、乳質事故が減少する効果が現れている。

#### 【農家の声】

- ・やるべきことをやったか一目で再確認できる。
- ・うっかりミスが絶対ないとはいえないが起こり得る危害を極力減らすことができるだろう。

### (3) 個別経営体での農場HACCP認証への波及（H30. 3）



- ・地域でのHACCPの取組に理解を示し、さらに衛生管理向上を目指した法人が農場HACCP認証を取得。
- ・さらに、町内では農場HACCP認証の取得を目指し農場内で検討する農家、HACCPシステムの作成を開始した農家、認証の取得は目指さないもののシステムの導入を検討する農家など、波及しつつある。

### (4) 標茶高校の農場HACCP認証取得（R2. 2）



- ・地域をあげたHACCPの取組が後押しとなり、標茶高校が農場HACCP認証取得に取り組んだ。
- ・推進会議の構成機関と連携してHACCPシステム構築を支援し、取組開始10ヶ月後に認証を取得。
- ・ロボット搾乳では町内初の認証取得事例であり、今後の地域への波及が期待できる。

## 3 今後の対応

地域でのHACCPやGAPへの取組に対し、情報の収集、発信、支援を行う。

